

\*\*2017年11月改訂（第3版）  
\*2016年6月改訂（第2版）

## 外皮用殺菌消毒剤

# 「エビス」クリゲン液

「EBISU」 CLEGEN SOLUTION

日本標準商品分類番号

872619

貯 法：密栓し、遮光して保存

使用期限：3年（ラベル等に表示）

注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	16200AMZ00774000
薬価収載	1987年10月
販売開始	1987年10月
再評価結果	1992年6月

### 【禁忌】（次の患者及び部位には使用しないこと）

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）〔聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害をきたすことがある。〕
3. 膣、膀胱、口腔等の粘膜面〔クロルヘキシジン製剤の前記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。〕\*\*
4. 眼

(3) 創傷部位に使用する本剤の希釈水溶液は、調製後滅菌処理すること。

(4) 産婦人科用（膣・外陰部の消毒等）、泌尿器科用（膀胱・外性器の消毒等）には使用しないこと。

### 3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### (1) 重大な副作用\*\*

ショック（0.1%未満）、アナフィラキシー（頻度不明）

ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

#### (2) その他の副作用

過敏症（0.1%未満）：発疹・蕁麻疹等の過敏症状があらわれた場合には直ちに使用を中止し、再使用しないこと。

### 【組成】

本品は、クロルヘキシジングルコン酸塩5w/v%及び非イオン性界面活性剤、添加物として赤色2号、香料を含む。

### 【性状】

本品は赤色澄明な液で、芳香を有する。水、エタノールと混和し、4倍容量以下のアセトンに溶ける。振ると強くあわだつ。

pH：5.5～7.0

比重：d<sub>20</sub><sup>20</sup> 1.01～1.03

### 【効能・効果】 【用法・用量】

本品は下記の濃度（クロルヘキシジングルコン酸塩として）に希釈し、水溶液又はエタノール溶液として使用する。

効能・効果	用法・用量	本剤希釈倍数
手指・皮膚の消毒	0.1～0.5%水溶液	50～10倍希釈
手術部位（手術野）の皮膚の消毒及び医療機器の消毒	0.1～0.5%水溶液	50～10倍希釈
	0.5%エタノール溶液	10倍希釈
皮膚の創傷部位の消毒及び手術室・病室・家具・器具等の消毒	0.05%水溶液	100倍希釈

### 【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に使用すること）

- (1) 薬物過敏症の既往歴のある患者
- (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある患者

2. 重要な基本的注意\*\*

- (1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
- (2) 本剤は必ず希釈し、濃度に注意して使用すること。

### 4. 適用上の注意

(1) 投与経路：外用にのみ使用すること。

(2) 使用時

- 1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- 2) 注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
- 3) 本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
- 4) 血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合には十分に洗い落してから使用すること。
- 5) 溶液の状態で長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。\*
- 6) 石ケン類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石ケン分を十分に洗い落してから使用すること。
- 7) 綿球・ガーゼ等は本剤を吸着するので、これらを希釈液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように注意すること。
- 8) 本剤のエタノール溶液で術野消毒後、処置の前に乾燥させておくこと。〔電気メス等による発火事故が報告されている。〕

